

平成24年度 大阪大学 免許状更新講習 < 選択領域 >

教科指導・生徒指導その他教育の充実に係る事項

「日本の伝統と新理論を 統合した英語教育」

伝統的なアプローチと最新の理論を統合的に考察することにより、小中高を問わず、これからの英語教育において根本的に重要となる諸点について考える。

たとえば、言語習得論の知見を踏まえた英語教育、母語話者の枠を越える国際英語の実践、波及効果を考えた教育の一環としてのテスト・評価のあり方、などのテーマを取り上げる。

対象者 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
英語担当教諭

時間数 6時間（6時間×1日）

定員 30名

開講日 8/21(火)

受講料 6,000円

場所 大阪大学 豊中キャンパス
全学教育推進機構 講義室

講習の詳細内容は裏面参照。

当講習の講師陣について

本講座の講師は、いずれも英語教育の今日的な課題を研究テーマとしています。また、言語文化研究科の公開講座である「教員のための英語リフレッシュ講座」（平成14年度発足）の講師としての経験も生かしながら、本講習に取り組んでいます。（各担当者プロフィールは裏面参照）

（注意）

講習内容はやむを得ず変更することがあります。

講習の申し込み期間は平成24年5月23日～6月12日です。先着順受付ではありません。

具体的な申込方法は、大阪大学ホームページの案内をご参照ください。

大阪大学ホームページ <http://www.osaka-u.ac.jp/>

講習内容

9:30 ~ 17:30

① 「国際英語」教育への招待	日野信行 教授
<p>近年の「国際英語」の理念は、Japanese English を含む多様な非母語話者の英語も国際コミュニケーションにおける自己表現と意思疎通の手段として肯定的にとらえ、英語学習に対する意識の変革をもたらします。また、教育方法についても、母語話者の価値観を押し付けることは戒められ、学習者の属する文化との整合性が重視されます。</p> <p>本講義では、「国際英語」教育の教材や教授法などの原理について考察するとともに、インターネットに接続されたCALL教室を利用して、本講師が実践してきた国際英語の授業方法についても紹介します。</p>	
② 「英語で授業を行う」条件－文法・訳読式教育と音声的基盤	成田一 教授
<p>「英語で授業を行う」には、条件整備が必要です。</p> <p>①生徒は、文法・語彙知識に基づいた一定水準以上の英文理解力と聴き取りの能力がないと、英語での授業を理解できません。また英語で質問したり答えたりするには、英文構成力がなければなりません。これにも構文文法・語彙知識が不可欠なほか、発音知識と調音技能が必要です。そうした言語の基盤能力がないとコミュニケーションはできません。</p> <p>②教師は、生徒が納得するような「本質を捉えた文法教育」を行うとともに、「訳読」により正確な理解を確認しつつ読解力を養うことにより、生徒の英語力基盤を育み、さらに音声教育により聴き取り・発話力を高めなければなりません。</p> <p>講義では、「英語で授業を行う」ことに関わる諸問題を包括的に取り上げ、(生徒の英語力の実態など)教育現場の実情を踏まえた現実的な英語教育のあり方を論じるとともに、その理論的背景の解説と発音の実践的な指導も行います。</p>	
③ 文法研究の成果を授業に活かす	今尾康裕 講師
<p>生徒の英語力を把握するためのテストを含む評価法は、教育とは切り離せないものであるにもかかわらず、特にテストは、教育の一部としてよりも、教育とは別に存在するものとして扱われる事が多く見受けられます。しかし、この両者は相互に影響を与えるもので、学校でのテストは教育・学習に有益な効果をもたらすように考慮する必要があります。</p> <p>本講義では、受講者間の話し合いなども含めて、テストを作成する際に理論面・実践面で考慮すべき点を考察します。</p>	

担当者紹介

日野信行 教授	著書に『トータルで650点：私の英語修業』（南雲堂）、Principles and Practices of Teaching English as an International Language (Multilingual Matters, 共著)、Cross-Cultural Literacy (Regents/Prentice Hall, 共著) 等がある。日本「アジア英語」学会会長、International Association for World Englishes (IAWE) 理事。元ラジオ「百万人の英語」講師。大阪大学共通教育賞を13回受賞。
成田一 教授	著書『パソコン翻訳の世界』などをはじめ雑誌・講演で機械翻訳を一般人に啓蒙。言語構造論の研究では、『名詞』（現代の英文法6）などの著書があるが、近年は新聞（朝日）・雑誌（『英語教育』『新英語教育』）・講演でも英語教育論や英語社内公用語化批判を展開。公開講座『英語リフレッシュ講座』を企画し長年実施責任者を務め、『英語リフレッシュ講座』を編著。英語教育総合学会会長を務める。
今尾康裕 講師	言語テスト理論の第一人者Lyle Bachmanの元、2010年にUCLAでPh.Dを取得し、アメリカ応用言語学会(AAAL)などで発表。また、コーパス言語学での知見を言語テスト研究に生かすべく、Mac用のコーパス分析ソフトCasualConcなどを開発している。

[お問い合わせ先]

大阪大学学生部学務課学務係

(TEL) 06-6879-4827 or 7947 (Mail) gakusei-gakumu-gakumu@office.osaka-u.ac.jp